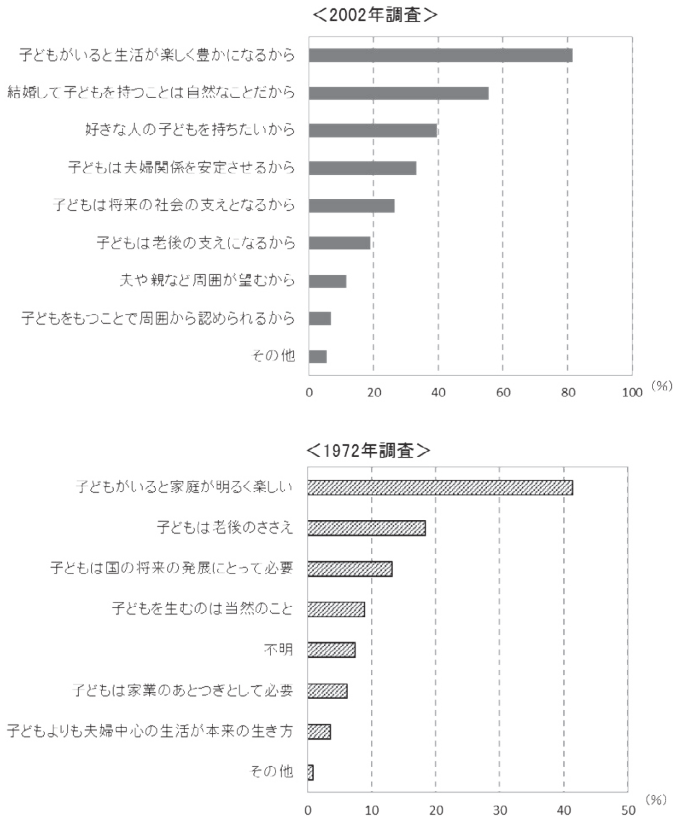


<図表 2-3-3 子どもを持つことを理想と考える理由>



(備考) 1. 2002年は、国立社会保障・人口問題研究所「第12回出生動向基本調査(2002年)」をもとに作成。複数回答のため合計は100%を超える。

2. 1972年調査は、厚生省人口問題研究所「第6次出産力調査(1972年)」をもとに作成。

高齢者を支える社会保障制度が整備される以前においては、子どもを老後の支えや国の支えと考える発想が一般的だった中で合計特殊出生率も高かった一方、社会保障制度が充実している現在においては、そうした発想に代わって、子どもを持ちたいから、自然なことだからという考えが多数を占めるようになっていにもかかわらず、合計特殊出生率は大きく低下しているのである。